



令和3年11月15日

野々市市長 栗 貴 章 様

野々市市上下水道事業経営審議会
会長 藤 田 雅 顯



下水道使用料の改定について（答申）

令和3年8月31日付け水第200号で諮問を受けた標記の件について、本審議会において審議を行った結果、下記のとおり答申します。

記

1 改定の必要性

令和3年度から令和7年度までの5年間の財政収支見込をもとに試算を行った結果、一般会計からの基準外繰入金に依存することなく事業を運営していくためには、下水道使用料の改定はやむを得ないという結論に至った。

2 改定率

赤字解消が達成可能な増額改定を目標に、コロナ禍における市民生活や企業活動への影響を考慮しつつ判断されたい。

なお、事業継続に最低限必要な資金を維持していくためには、17%程度の増額改定が必要と考える。

3 その他

使用者にとって急激な負担増となることのないよう、今後は3年ごとに定期的に下水道使用料の改定の必要性について検討されたい。